

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	35	1	基本事務事業名	青少年育成センター事務	事務事業名	青少年育成センター事務	公的関与	4	シート作成日	令和4年8月4日			
	部局名	教育委員会		課名	社会教育課	主務課長名	板東 毅	シート作成者名	村尾 茉優					
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(6) 青少年の健全育成			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	~	令和	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(1) 健全育成体制の充実			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内青少年										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	環境浄化と子どもたちにとって住みよいまちづくり、また青少年の非行防止と健全育成を図ります。									
				今年度	関係機関・団体を中心とした非行防止や有害環境の浄化、補導などの活動を促進し、健全な社会環境づくりを進めます。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 警察、関係機関との連携による補導活動、児童の登下校時のパトロール													
	② 健全育成活動の実施(親子ふれあい「手づくり工房」・自立支援活動・広報活動(非行防止標語・ポスターの募集・リーフレットの作成配布など)													
	③ 環境浄化活動の推進(白いポストを利用した有害図書・ビデオ類の回収)													
	④ 相談活動(青少年、保護者及び関係機関)													
	⑤ HPへの不審者情報の掲載、パトロール時やケーブルテレビでの広報活動													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標					
	補導活動回数	子どもたちの安全及び犯罪行為の予防として		回	目標	55	55	55	60					
					実績	26	23							
	有害図書類の回収	環境浄化活動の1つの指標として		回	目標	70	70	70	70					
					実績	12	12							
	防犯教室の開催	児童生徒の防犯意識向上の指標として		回	目標	14	14	14	14					
		実績	0		1									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	青少年育成センター費
	直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考							
		国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		4,362 千円	2,384 千円	2,412 千円								
		計(A)		4,362 千円	2,384 千円	2,412 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	612 千円	0.100 人	609 千円	0.100 人	604 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)			4,974 千円	2,993 千円	3,016 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	青少年の犯罪行為の予防に取り組むなど、関係機関と連絡を密に取りながら安全なまちづくりのための活動をしています。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい		
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	警察・学校・家庭及び地域が緊密に連携して市内の青少年の非行防止及び健全育成を図るための活動拠点です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	相談件数は、前年度と比べたら増加傾向にあると見られます。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	コストに比べて、十分な効果が得られていると考えます。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当		
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		
ACTION	一次評価					二次評価						
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A	
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			
当面の課題	近年、非行相談よりも進路・学業相談や不登校などの相談件数が増加しています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	関係機関と連携しながら、様々な相談に対応します。また、相談員は研修を受講するなど、相談対応のための技術向上に努めます。					関係機関との連携を密にし、相談・要望に耳を傾け、より良い事業の推進に努めます。						
委員会指摘事項												